

児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表【事業者用】令和2年度発達支援ルームキャンパス

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			国の設置基準に満たした訓練室で集団活動が行えるよう、死角のない指導員が目の届く範囲で広さは十分にあります。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			国の人員配置基準に加え、加算要件を満たす人員配置を行っております。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備が適切になされているか		○		事業所内バリアフリー基準を満たした設備になっています。利用されるお子様にとって活動がわかりやすいように構造化した活動を今後も心掛けて行きます。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間が確保できているか	○			毎日の清掃、消毒を行い、清潔な環境に気を付けています。感染予防も季節ごとに見直しています。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			午前中に事前ミーティングを行い事後報告も忘れずに行っています。
	2	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			開所年度より事業所評価アンケート調査を行い、職員間でも結果を共有し、業務改善につなげています。
	3	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上に結果を掲載するとともに保護者の方にも書面にて報告しています。
	4	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		現在は保護者の方の評価と社内評価のみです。今後必要に応じて外部評価の実施を検討します。
	5	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修の参加や、内部研修により支援の質を高めるよう努めていきます。
	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用に際しての見学・体験時に保護者面談を行いニーズを把握したり、行動観察を記録し個別支援計画を作成しています。外部でとった発達検査の結果等でも発達状況を把握しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
適切な支援の提供	2	児童発達支援ガイドラインや放課後等デイサービスガイドラインに基づき、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画において子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容を記載しているか	○			ガイドラインに即した支援内容を個別支援計画に設定しています。
	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			一人ひとりの発達に応じ、集団適応・社会性の視点を持ちながら個別支援計画の作成に当たっています。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援が行われているか	○			個別支援計画に沿った支援を行っています。
	5	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			日々のミーティングや職員ミーティングで話し合い、共通の目標をもって取り組むことを目指しています。
	6	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			一人ひとりの発達や状況に応じた課題設定となるよう、日々職員間で確認しながら行っています。
	7	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			利用時間に応じて療育の内容を見直しています。
	8	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			活動開始前に、ミーティングを行いプログラムの流れや役割分担や支援方法・配慮点を確認しています。
	適切な支援の提供（続き）	9	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		
10		日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録を参考に、次回の活動のステップアップや改善につなげています。
11		定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月に1度、見直しを行っています。
	1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			開催される場合は、管理者・児童発達管理責任者など適任者を選んで出席しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
関係機関 や保護者との 連携	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関との情報共有や連絡調整を適切に行っているか			○	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医等や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○	
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有が行われているか		○		送迎時等に、情報の共有を心掛けています。
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供が行われているか		○		共有を求められた場合には、保護者様に了解を取り回答しています。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		コロナの関係で今現在は実施していない。
	8	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		地域の活動には、積極的に参加するようには努めている。
	1	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明をさせていただいています。また不明な点は随時職員が説明しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
保護者への説明責任等	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を行っているか	○			契約時に背t名させていただいています。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか		○		実施が定着できてないので、知識を習得できるように職員も研修に参加していきます。
	4	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			子どもの状況や課題について話しをする機会を設けたり、必要に応じて個別に相談の時間を設けています。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			希望に応じて相談を受け付けています。定期的なモニタリング時に相談の時間を設けています。
保護者への説明責任等（続き）	6	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者同士の連携がしやすくなるような内容を検討していきます。
	7	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて適切な対応をするようにしています。苦情・解決担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明しています。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			ことばと共に視覚的にわかりやすく写真や絵カードを提示する、子どもの意思表示に際してカードを利用するなど、伝わる方法や意思疎通の方法をお子様や保護者に合わせるようにしています。
	9	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		活動の写真など、個別と全体に向けて定期的に配布しています。
	10	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報が記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しています。
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルについて職員会議にて対応方法の確認を行ったり、保護者にも定期的に説明しています。
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			活動時間中の避難訓練等、今後も定期的な訓練を継続していきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
非常時等の 対応	3	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			外部研修の参加の他、事業所内でも研修を行っています。
	4	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・一時性があることを条件に行うことを職員の共通認識とし、行った場合は記録に残すことにしています。また、保護者にはそれらを契約書に記載し説明しています。
	5	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			食事提供はありませんが、アレルギーがあれば活動には取り入れないようにしています。必要に応じて緊急に場合の取り決めを保護者と行います。
	6	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			危険な事例があった場合、特定の報告書に記載しミーティングを通して職員で共有しています。